

# 平成23年度 学校自己評価表〔定時制〕

香川県立坂出工業高等学校

## ◆学校運営計画

学校運営計画		評価
学校運営方針	本校は、「実践をとおして、実社会に直接活かせる知識・技能を身につける専門高校」であるとの共通理解のもと、教職員が組織となって指導力を発揮して、生徒に「工業に関する知識と技能の定着と、それを活用する実践力」「社会人に求められる教養・資質」「強靱な心身」を育む指導を進め、本校のよき伝統の継承と深化を図っていく。	B

## ◆評価段階

A	達成できた
B	ほぼ達成できた
C	あまり達成できなかった
D	達成できなかった

## ◆23年度重点目標および具体的目標

23年度重点目標	具体的目標
1 確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数クラスの特性を活かした個別指導と漢字テストや計算テスト等をとおして、基礎学力の定着と個々に対応した学力の向上を図るとともに、興味・関心の湧く授業の工夫、改善に努める。</li> <li>・ものづくり教育を充実させ、各種ロボット競技大会や校外行事に積極的に参加するなど、工業の実践力の育成に努める。</li> <li>・基礎的・基本的な工業技術を修得させ、積極的に資格・検定を受験させるとともに、課外指導を充実させ合格率を向上させる。</li> </ul>
2 進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職内定率100%を目指すため、学年に応じた系統的な職業指導を行い、望ましい職業観・勤労観を育成する。</li> <li>・ハローワーク等の関係機関との連携により、個々に対応した就職支援を行う。</li> <li>・在学中のアルバイト等を推奨し、就職時に必要な生活習慣を身につけさせるとともに、社会人としてのマナーの育成を図る。</li> </ul>
3 豊かでたくましい心をはぐくむ教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導や部活動を充実させることにより、基本的倫理観、自律心、モラル等の向上・育成に努める。</li> <li>・家庭や職場及び専門機関との連携を密にし、様々な問題を抱える生徒が、充実した学校生活を送れるように支援を行う。</li> <li>・学校行事や人権教育をとおして協調性を養い、人権を尊重し、他人を思いやる心の教育の充実を努める。</li> </ul>
4 信頼され魅力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開かれた学校づくりを目指し、学校評価の結果に基づき、組織として適切かつ早期の対応に努めるとともに、ホームページや定時制だより等を有効に活用して、学校の情報を積極的に提供する。</li> <li>・ものづくりの技術を活かして地域に貢献し、イベントに参加するなど、地域社会との連携や相互理解に努めるとともに、定時制の良さを理解してもらえるようにする。</li> <li>・教職員の危機管理意識を高め、校内外での事故防止に努めるとともに、事故発生時における迅速な対応ができるようにする。</li> <li>・個人情報管理を徹底し、情報の漏洩を未然に防止する。</li> </ul>

## ◆23年度の成果と次年度の課題

23年度重点目標	成果(・)と課題(*)
1 確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり教育の取り組みとしてマイコンカーを製作し、マイコンカーラリー四国大会のベーシッククラスとアドバンスドクラスにそれぞれ1名が出場し完走した。</li> <li>・課外、補習等を充実させ、第二種電気工事士、ガス溶接技能講習、二級ボイラー技士、ボイラー取扱技能講習、パソコン利用技術検定等の資格・検定に合格した。</li> <li>*基礎学力が不足しているので、いかにして基本的な漢字の読み書きや一般常識を身につけさせていくことが課題である。</li> </ul>
2 進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職状況が厳しい中、就職を希望する4年生全員の就職が内定した。また、「さぬき若者サポートステーション」の協力を得て、就労支援プログラムを継続することができた。</li> <li>*企業訪問や企業開拓、就職内定につながる資格・検定の取得を継続して推奨するとともに、早期からの就職支援活動に取り組む必要がある。</li> </ul>
3 豊かでたくましい心をはぐくむ教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒達は落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送れている。また、人権教育、交通教育、情報教育、防災教育等におけるVTR視聴等により、人権意識や倫理観、道徳心を養うことが出来た。</li> <li>・定通総体に向けて早い時期から練習を開始し、全日制の職員、生徒の協力も得て前向きな取り組みができた。残念ながら全国大会への出場は果たせなかったが、生徒は充実感を得ることができた。</li> <li>*スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー及び教員が連携できる体制を構築する必要がある。</li> </ul>
4 信頼され魅力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや坂工連絡、定時制便り「道標」の発刊等を通して、家庭や地域に教育活動の一環を随時発信できた。</li> <li>*最後の学年になり、少人数ではあるが、地域への貢献や連携を深めていく新しい方策を考えていく必要がある。</li> </ul>